

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 洛和福祉会	代表者	矢野 阿壽加	法人・事業所の特徴	平成24年4月に開設した事業所であり、建物も新しくご利用者もスタッフも明るい事業所です。グループとしては2番目の小規模多機能居宅介護事業所であり、事業所間の情報交換・連携も行っています。レクリエーションに力を入れており皆さん楽しんで下さっています。ご利用者やご家族の意向を大切に、柔軟な対応を心掛け支援させて頂いております。
事業所名	洛和小規模多機能サービス 山科西野	管理者	岩崎 安信		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	2人	2人	1人	1人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	新規利用者の受け入れに際して、カンファレンスを行ない、記録に残し職員全員が閲覧出来る状態にする。	記録、ケア手順、サービスの留意点を作成し、閲覧出来るようにしている。	一連の流れとポイントは整理され見やすく理解できました。実際の現場での職員間での情報共有や希望順の明確化に取り組まれている事が分かりました。	利用開始になってからの新たな気付きを共有しサービスに繋げていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	月の行事担当者が、月毎にイーゼルを書き替え外部に情報を発信する。	イーゼルの設置は出来ていた。一度イーゼルが壊れてから、設置が出来ていなかった。	・駐輪場から玄関、会議での室内はいつも綺麗で、玄関ホールの飾り付けや外周の植物も定期的に入れ替わり気持ちの良い環境です。	イーゼルを活用し地域の方にも情報発信を出来る様にする。
C. 事業所と地域のかかわり	イーゼルの設置を忘れない様、業務チェックリストに記載し確認する。	オレンジトライアングルや地域の場所を借り勉強会など行事は多く取り組む事が出来ている。	・オレンジトライアングルの活動を継続いたします。地域向けに個人が参加可能な時は極力「顔を出す」様にします。	地域交流会会議には管理者のみの参加になっており、他の職員の参加、情報共有を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	毎月実施される「お茶しませんか？」への毎月参加。	参加する利用者が限られているが、予定に組み込み参加できている。	・毎回参加いただいております。民生委員、老人福祉委員ほか地域住民との横のつながりが出来る様に声掛け、工夫、意見要望します。	横のつながりが出来る様、他の職員も参加出来るように調整する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議後に委員の方々に現場見学をして頂き、同時に職員紹介をする。	運営推進会議後では出勤している職員が限られ、全員の職員紹介が出来なかった。	・意見交換しやすく会議参加者の意見を汲みとっておられると思います。 ・オレンジトライアングルは他の地域にはない誇れる活動だと思います。	職員の顔を知ってもらえるよう、写真と名前を入り口に作成し地域の方にも知ってもらう環境作りを行う。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所防災訓練に地域の方々も参加してもらえる様、情報発信をする。	GHと合同で参加し、情報も共有できている。	・機会があれば参加したいです。	地域方にも参加してもらえる様、イーゼルに記載するなどの情報発信をする。